

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成25年)

2. 分野等別状況 (2) 地域活性化総合特区 ③ アジア分野 (3/5)

| | 評価区分 (*1) | 総合評価 (IとIIの平均値にIIIを加味) | I 目標に向けた取組の進捗に関する評価 | II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況 | III 現地調査時の指摘事項及び対応状況 等 (*2) | 総合評価に係る専門家所見(主なもの) |
|-----------------------------------|-----------|---------------------------|---|--|-----------------------------|---|
| | | | | | | |
| ハイパー&グリーンイノベーション水島コンビナート総合特区(岡山県) | 正 | B 4.0 | B 3.7 進捗度 ・企業間連携によるコスト削減額 130% ・国際コンテナ取扱個数 89% 等 | B 3.7 規制の特例等 ・地域活性化総合特別区域ガス融通事業 ・回送運行効率化事業 ・分割可能貨物輸送効率化事業 等 地域独自の取組 ・岡山県大規模工場立地等立地促進補助制度 ・倉敷市企業誘致促進奨励金 等 | ±0.25 | <p>・高度な企業連携による高効率・省資源型コンビナートの構築は、戦略的で先駆性に富み、省資源を標榜する時代の要請に合致した案件であり、高く評価できる。</p> <p>・一方、多様な製造業種が集積する水島コンビナートの特質を活かした新たな企業誘致と雇用創出には進展が侘えず(※1)、大胆な思考変更や見直しなど更なる工夫が求められる。</p> <p>・また、水島港の整備については、国際バルク戦略港湾施策(※2)が進められる時期まで、長期的な視野で進展を注視してゆく必要がある。</p> <p>※1: 数値目標として、「成長分野の企業立地件数」を設定しているが、平成24年度・25年度ともに実績はゼロとなっている。</p> <p>※2: 平成23年5月31日に国(国土交通省)から穀物と鉄鉱石について安定的かつ安価な供給のための「国際バルク戦略港湾」に選定された。</p> |

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。

*2)「III」については、「地方公共団体による総合評価の状況について」も評価している。